

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	チームで作る介護計画とモニタリング「本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している」について、次のステップに向けて期待したい内容として「職員の方のスキルアップも兼ねたケアプランの作成手順の勉強会も行われても良いと思います」との評価を頂く。	ワーカーもケアプラン作成手順としてプラン案・ケアチェック表が理解でき、活用できるようになる。	ケアプラン作成に関する勉強会を実施する。 年間2回以上	12ヶ月
2	52	居心地の良い共用空間作り「共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレなど)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度などが無いように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地良く過ごせるような工夫をしている。」について、次のステップに向けて期待したい内容として「畳の間の利用方法を工夫されると良いと思います。」との評価を頂く。	畳の間が活用できるようになる。	日中は、洗濯物を干さないようにし、マッサージボランティアの他、お茶会、行事(舞台)などに活用していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。